

1 学校教育目標

- 明るく元気な子 自ら進んであいさつし、体を動かして活発に遊び活動していく子
- 自ら考え学び合う子 主体的・対話的で深い学びをしていく子
- 仲よく助け合う子 人を思いやり、優しい言葉で関わり合っていく子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○防災教育への意識が高く、児童・保護者及び地域にとって安全で安心できる学校 ○互いに相手を思いやる言葉に溢れ、やればできる体験を通して、自尊心を着実に育てていくことができる学校 ○学ぶ楽しさや喜びを体感し、自分にあった勉強の仕方を学び、確かな学力を身に付けることができる学校
○児童・生徒像	○「できない」「分からない」壁にへこたれず、主体的・継続的に努力し前進していく子 ○基本的な生活習慣を身に付け、明るく元気に体を動かして活動していく子 ○たくさんの人との関わり合いの中で、挨拶を大切にし、互いに気持ちのよい関係が築ける子
○教師像	○危機管理意識が高く、「誠意・迅速・丁寧」に対応できる教師 ○授業力向上を目指し、柔軟性をもって意欲的に研修し、日々実践する教師 ○子どもを受け止め⇒認め⇒誉め・叱ることができる、愛情豊かな信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

- 【学校】○チーム学校として、互いに連携し共通理解を図りながら、様々な課題に向き合い解決していこうとする。
○働き方改革として自らの仕事のあり方について向き合い、改善に向けた努力をしていこうとしている。
●反面教師的な行動をしない、自らを律し厳しい姿勢を教師自らが持ち続け実践していくこと。
- 【児童】○相手の目を見て、明るく元気な挨拶をしていく習慣が身に付いている。
○学びへ丁寧さが着実に育まれ、その成果が結果に結び付くようになっている。
●相手や場に応じた言葉遣いができない実態がある。また、友達に対しての口調や言葉の選択に課題がある。
- 【保護者・地域】○台風による自然災害の際には、地域が日頃から準備してきた成果を発揮し、ONE TEAM となり高いレベルでの避難所運営を実施した。
○年度当初から家庭の責任として、と明確に働きかけた「LINEトラブル」について、そのトラブルが激減した。
●一人ひとりの子の成長に向け、それぞれに抱える課題改善に向けた対応を、互いの情報交換を大切に連携しし合い対応していく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力・指導力の向上	○	○	○	○	○
2	心身の健康の充実	○	○	○	○	○
3	個性や特性に応じた指導の充実	○	○	○	○	○

5 令和元年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力・指導力の向上							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
<ul style="list-style-type: none"> ・新学力感に伴う授業実践の定着 ・ICT機器活用の充実 		目標通過率目標 85% (到達目標 85%)							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	授業力／指導力向上	国語・算数	通年授業	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTによる自主研修の充実(ペアリング決め・研修担当一覧表作成) ・教科専門員指導との指導共有を管理職が年3回図る。 ・年3回以上の授業観察による、授業後の指導と評価用紙の活用 	校長授業シートによる評価 指導教諭による評価 教科専門指導員の評価	前期中に各評価BOレベル(9段階評価で6レベル)。後期もBOレベル授業の継続実施。	・		
継続	指導力向上中核校としての推進「読解力」(物語文)	国語	通年授業 研究授業 6, 9, 10, 11, 12, 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回「物語文読解」授業研究について区内に発信。事前／事後の区内発信を実施。 	他校参加者アンケートによる評価	各アンケート集計：研究評価ABC評価で、Aが全体7割以上			
新規	ICT機器活用の充実	国語・算数・理科・社会	通常授業	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を日常的に活用していく。 ・自主作成デジタル教材を授業の中で日常的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器／デジタル教材活用のアンケート実施 6, 10, 2月 	年3回の自己評価結果で、ABC評価が、Aが全体8割以上			
改善	組織的少数人数補充学習指導の計画的・継続的実施	国語・算数	通年放課後 読書タイム パワーアップタイム	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上担当の主任教諭を中心とした、管理職・専科・各担任1～3年生は、6時間目のない枠で基本実施。4年生以上は、15:30～16:00(夏16:30)実施 ・MIM, 九九教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回コンテスト結果 ・毎月MIMテストと年度末結果 ・1, 2月九九検定 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算／漢字コンテスト通過率平均点85%以上 ・MIM95%第一ステージ ・九九100%定着 			

継続	漢字・計算 コンテスト 全校授業 ～勉強の仕 方を学ぶ～	全児童 漢字・計 算	第1回 6/27, 28 第2回 12/5, 6 第3回 3/5, 6 全校授業年 3回	・校長：計算10問、漢字 25問コンテスト各3回 ・コンテスト便りテスト前 後2回ずつ計6回発行 個人・学級表彰、課題の振 り返り全校授業 ・継続的で丁寧な学び方 について学んでいく	テスト結果分 析	全学年コンテ スト毎に 平均80点以上 丁寧さ70%以上 通過率80%以上			
改善	読書の充実	全児童 図書活動	通年朝読書 タイム15 分間 火、木、金曜 日	・読書推進主任教諭を中心 とした、調べ学種の充実 ・必読書推進への全校朝礼 での表彰の実施 ・月2回の教員等による読 み聞かせの充実	・必読書達成 結果分析 ・アンケート 分析	・年度末に必読書 各学年目標達成 者50人以上 ・読書好き全体 85%以上			

重点的な取組事項－2		心身の健康の充実							
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題		達成度	
<ul style="list-style-type: none"> ・体力状況調査による「柔軟性」「俊敏性」の向上 ・定期健康診断による病気治癒証明書の回収徹底 		<ul style="list-style-type: none"> ・体力状況調査都平均以上 ・治癒証明書回収95%以上 							
B 目標実現に向けた取組み									
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果		コメント・課題		達成度	
「柔軟性」「俊敏性」の向上	体力状況調査都平均以上	体育授業導入5分間運動の継続							
病気治癒証明書の回収徹底	治癒証明書回収95%以上	保護者への継続的・様々な働き掛け							
特別の教科 道徳の充実	授業の計画通りの実施 交換授業の確実な実施	年間実施計画表の確実な実施							
要支援群に属する児童の改善	年度末要支援群に属する児童の80%以上改善	6月、2月実施のQ-U検査							

重点的な取組事項－3		個性や特性に応じた指導の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
・特別な支援を要する児童の実態把握と理解／対応力研修の充実 ・不登校傾向児童への早期・組織的対応と関連機関との確実な連携 ・アレルギー対応の確実な実施 ・自己肯定感（ソーシャルスキル）向上		・全児童の落ち着いた学校生活実態 ・不登校0人 ・アレルギー事故0 ・自己肯定感全体85%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
特別な支援を要する児童対応	全児童落ち着いた生活態度	組織的な指導と校内研修会実施			
不登校傾向児童対応	不登校0人	早期対応と組織的対応、SC活用			
アレルギー対応の確実な実施	安全性100%確保	全教職員エピペン研修、家庭との連携			
自己肯定感向上	自己肯定感全体85%以上	Q-U検査の実態改善			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）